

秋月藩成立400年 -受け継がれる水のめぐみ-

●発行日 令和6年3月15日 ●発行所 朝倉市・朝倉市環境アクション協議会 かべ新聞編集委員会 〒838-0062 福岡県朝倉市堤4-6 電話 0946-23-1153 ●印刷 ㈱四ヶ所

すごいぞ！ ネイチャー・ベースド・ソリューション！

ネイチャー・ベースド・ソリューション (Nature-based Solutions) とは、自然の力を活用して生態系と人間の両方に恩恵をもたらす解決方法のことです。

秋月を流れる野鳥川には、このネイチャー・ベースド・ソリューションに当てはまる場所がいくつもあります。今回は、そのうちの一つの猿鹿堰（目鏡橋上流）を紹介します。

野鳥川では、大雨が降ると度々洪水が起き、周辺の田畑が被災してきました。このため、秋月藩では要となる場所に治水のための構造物を建築したと考えられます。

400年程前に造られた猿鹿堰は、秋月藩の治水のための構造物の中でも代表的なものです。野鳥川で増水した時の水量や水流を考えた上で、当時では最新の技術を用いて作られています。秋月を次の時代につなぎ守るため、考え抜かれた構造物です。



今回お話を伺った、九州大学大学院工学研究院環境社会学部部門准教授 林 博徳先生です！河川工学について研究を行われております。



猿鹿堰

point
01

生き物のすみかになっている

川底の石の間に、砂が入っている（空積み工法）。石の隙間に砂が入ることで、水生生物が住みやすい環境となっている。



カワムツ



タカハヤ



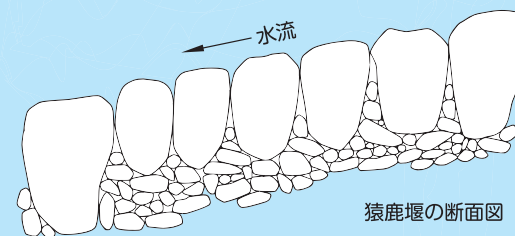
ヨシノボリ類

※野鳥川の魚たち

point
02

大きな石を階段状に積んでいる

川底に石を階段状に積むことで、水流を減速している。表面の石は30cm程でも、実際は1m以上あるものも。



猿鹿堰の断面図



水の味比べしながら街歩き。『秋月水自慢MAP』！
Akizuki Tourism Association



♡ Q A

秋月観光協会会長の小室容久といいます。私が秋月に来て驚いたのは、水の味が一軒一軒違うという事。私の仕事の染め物をするために、ここを選んだのも、山からの伏流水、川の水、井戸水と色々な種類の水が使えるから。そんな水の違い、水の味わいを知ってもらいたくて、今年から秋月観光協会が秋月水自慢の取組を始めました。水自慢の MAP を見ながら、先人たちの治水の知恵と技術に触れ、街歩きをすることができます！

※秋月水自慢MAPはあさくら観光協会・秋月公営駐車場などで無料配布しています。

秋月水自慢 # 水の味くらべ # 治水構造物

令和5年度朝倉市小学生自由研究 環境部門



環境アクション協議会会長賞

一日の気温・地表温度・車内温度の測定と、車内に置いた卵の調査

立石小学校 6年2組 まつた 直薫 さん



一日の気温・地表温度・車内温度の測定と、車内に置いた卵の調査を行いました。ヒトへの車内温度の影響を知りたかったからです。

そのため、ヒトへの影響を調べるために、成分の似ている卵を実験に使いました。実験方法として、7時から19時までの12時間、車内のダッシュボードに置きました。その結果、生卵がゆで卵になっていました。ヒトでも同じことが起こるとすれば大変危険であると考えました。



掲示期間

令和6年3月15日～
令和6年7月31日まで